

用紙ガイド

本機は、以下の用紙サイズをサポートしています。ユーザー定義の用紙サイズは、ユニバーサル用紙の最大サイズ以下で設定します。

凡例 ✓ - サポート ✕ - 非サポート		標準 250 枚カセット (カセット 1)	オプションの 500 枚 カセット (カセット 2)	多目的フィーダまたは 手差しフィーダ スロット
用紙サイズ 寸法				
A4	210 x 297 mm (8.27 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓
A5	148 x 210 mm (5.83 x 8.27 インチ)	✓	✓	✓
JIS B5	182 x 257 mm (7.17 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓
レター	215.9 x 279.4 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓
リーガル	215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓
エグゼクティブ	184.2 x 266.7 mm (7.25 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓
フォリオ	216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓
ステートメント	139.7 x 215.9 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✕	✕	✓
ユニバーサル *	148 x 210 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (5.83 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ) **	✓	✓	✓
7 3/4 封筒 (Monarch)	98.4 x 190.5 mm (3.875 x 7.5 インチ)	✕	✕	✓
9 封筒	98.4 x 225.4 mm (3.875 x 8.9 インチ)	✕	✕	✓
Com10 封筒	104.8 x 241.3 mm (4.12 x 9.5 インチ)	✕	✕	✓

* 用紙の大きさがソフトウェアアプリケーションで指定されていない限り、250 枚カセットに対して用紙または封筒を 215.9 x 355.6 mm (8.5x14 インチ) に書式設定します。

** 各給紙源の最小用紙サイズについては、説明書類 CD に収録されている『ユーザーズガイド』を参照してください。両面印刷の場合、最小サイズは 139.7 x 210 mm (5.50 x 8.27 インチ) です。

凡例 ✓ - サポート ✕ - 非サポート		標準 250 枚カセット (カセット 1)	オプションの 500 枚 カセット (カセット 2)	多目的フィーダまたは 手差しフィーダ スロット
用紙サイズ 寸法				
DL 封筒	110 x 220 mm (4.33 x 8.66 インチ)	✕	✕	✓
C5 封筒	162 x 229 mm (6.38 x 9.01 インチ)	✕	✕	✓
B5 封筒	176 x 250 mm (6.93 x 9.84 インチ)	✕	✕	✓
その他の封筒*	104.8 mm x 210 mm ~ 215.9 mm x 355.6 mm (4.125 インチ x 8.27 インチ ~ 8.5 インチ x 14 インチ)	✕	✕	✓
* 用紙の大きさがソフトウェアアプリケーションで指定されていない限り、250 枚カセットに対して用紙または封筒を 215.9 x 355.6 mm (8.5x14 インチ) に書式設定します。				
** 各給紙源の最小用紙サイズについては、説明書類 CD に収録されている『ユーザーズガイド』を参照してください。両面印刷の場合、最小サイズは 139.7 x 210 mm (5.50 x 8.27 インチ) です。				

用紙を保管する

用紙の適切な保管については、以下のガイドラインを参照してください。これらのガイドラインは、給紙時の問題を防いで印刷品質を安定させるために役立ちます。

- 最良の印刷結果を得るために、温度約 21°C (70°F)、相対湿度 40% の環境で用紙を保管する。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚において床より高い場所で保管する。
- 梱包された用紙を元のダンボール箱から出して保管する場合は、平らな場所に保管し、用紙の端がゆがんだりカールしたりしないようにする。
- 梱包された用紙の上に物を置かない。

紙づまりを防ぐためのヒント

以下の手順に従うことで紙づまりを防ぐことができます。

- 『ユーザーズガイド』に記載されている用紙の重さの仕様に従う。
- 推奨用紙または専用紙のみを使用する。
- 用紙を積み重ねすぎない。重ねた用紙の高さが、カセットのセットラインラベルで示されている高さ制限を超えないようにしてください。
- しわ、折り目、湿気を含む用紙、あるいは丸まった用紙はセットしない。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙の大きさ、重さ、種類が異なる用紙を 1 つのカセットにセットしない。

- すべてのカセットを片面印刷用にセットする場合は、推奨される印刷面が上になるようにセットする。
- 多目的フィーダや手差しフィーダにセットする場合は、推奨される印刷面が下になるようにセットする。
- 適切な環境で用紙を保存する（⇒2 ページの「用紙を保管する」）。
- 印刷ジョブ中にカセットを取り外さない。トレイに用紙をセットするように指示するメッセージまたは [準備完了] が表示されてからトレイを取り外してください。
- 用紙をセットしたらすべてのカセットをしっかりと押し込む。
- カセットのガイドがセットした用紙の大きさに合った正しい位置にあることを確認する。ガイドが用紙をきつく挟みすぎていないことを確認してください。
- カセットの用紙のサイズが、操作パネルで選択したサイズ設定と一致していることを確認する。
- プリンタに接続されているすべてのケーブルが正しく接続されていることを確認する（⇒『セットアップシート』）。
- 紙づまりが発生した場合は、用紙経路から用紙をすべて取り除く（⇒『ユーザーズガイド』）。